

かくだ市議会だより



第420回定例会

- 概要・常任委員会・質疑 …… 2
- 議会案・会派代表質問 …… 3
- 議案審議結果 …… 4
- 予算審査特別委員会 …… 5
- 一般質問 …… 6～13

角田市議会から

- 議会日誌 …… 13
- 議会だよりモニターとの懇談会 …… 14

【今号の表紙】『入の坊滝』

高蔵寺ホテルまつりが開催される高倉川上流の入の坊滝へ、新緑の時期に里山の花を見ながら楽しんでみました。

《撮影》角田市高倉 大沼 義治 さん
撮影日：2023年4月11日 場所：高倉川上流

表紙写真・イラスト等募集しています

詳細は角田市ウェブサイト内「かくだ市議会だより表紙写真・イラスト募集」をご覧ください。

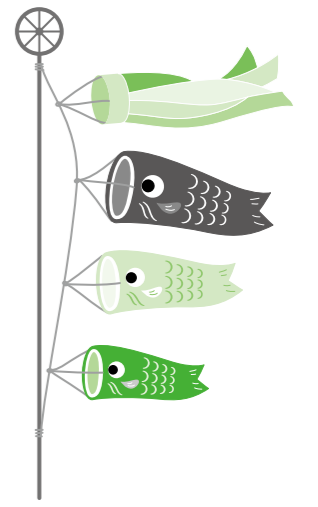


第420回 2月定例会

第420回定例会は2月17日から3月15日までの27日間の会期で開かれました。

市長から提案のあった条例の制定、新年度予算などの議案36件を審議し、原案のとおり可決・承認し、人権擁護委員の候補者の推薦に係る諮問1件を適任と答申しました。

一般質問では、13人の議員が市政全般にわたり論戦を繰り広げ、施政方針に対する会派代表質問も行われました。最終日には議員提出議案が2件提出され、原案のとおり可決されました。



議案第10号

角田市学校施設整備基金条例の制定

児童生徒の急激な減少と、学校施設の老朽化に鑑み、建て替えや長寿命化を図る財源として、計画的に事業を進推するため、条例を制定するもの。



▲角田中学校校舎

総務産業常任委員会での質疑

問 角田中学校校舎と北角田中学校屋内運動場の建て替え、角田小学校校舎の長寿命化改修の事業に必要なとなる一般財源の額は。

答 今後、大きく変動する場合はあるが、3校で25億円程度を見込んでいます。

問 4月開校の金津小学校にはプールがない。基金を活用してプールを設置する計画はあるか。

答 屋内温水プールを活用することによって、熱中症の問題や気温に左右されることなく、授業を進めることができることから、設置する計画はない。

基金とは、条例に基づき設置されるもので、①特定目的のために財産を維持し資金を積み立てるための基金②定額の資金を運用するための基金に分けられます。そのうち①は、財政調整基金・減債基金・特定目的基金（学校施設整備基金ほか複数あり）に区分されます。

議案第3号

一般会計補正予算（第15号）

奨学金（角田市奨学会奨学金事業）

問 奨学金の新規貸付予定者14人に対し、4人の実績となった理由は。

答 新規に医学部学生1人、大学生10人、高校生3人を見込んでいたが、大学生2人、高校生2人の実績となった。①対象となる学生が減少している、②奨学金は本市以外の選択肢もある、③貸付条件により無償化の奨学金制度がある、④本市の奨学金制度は将来返還が必要となる等の理由により、利用者が減少したと推察する。

答 岡駅前公園に高さ約1メートルの盛土（約5,300立方メートル相当）工事をするため、トラック等の運搬経路を地元住民と調整したところ、土砂を仮置き場で積み替えて搬入することとなったための補正である。

公園整備費
問 詳細内容について説明を求めます。

議案第21号

角田市交通安全指導員条例の一部改正

問 定数が45人から36人に減少した背景を問う。

答 学校の統廃合により通学路が変更（スクールバスの運行等）となり、街頭指導箇所も変更となったことや、公的行事での出勤人数の再検討を行い、適正な定数に見直したためである。

人権擁護委員の候補者の推薦

《再任》 今野 林一郎
任期 令和5年7月1日（3年間）

皆さんからの陳情

▼普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める意見書の提出を求める陳情
コドソラ
代表 与那城 千恵美

会派代表質問

会派一心 星 隆悦

案号 議案第1号

角田市議会の個人情報の保護に関する条例の制定

改正個人情報保護法の施行（令和5年4月1日施行）に伴い、地方公共団体の個人情報保護制度は全国的な統一ルールに一本化され、法が直接適用となる一方、地方議会は国会や裁判所と同様に法の適用除外となります。

本市議会で保有する個人情報について、適正な取扱いを確保するとともに、執行機関との取扱いに差異が生じないよう条例を制定するものです。※執行機関は第419回（令和4年12月）定例会で「角田市個人情報保護の保護に関する法律施行条例」を提案し、議決しています。

案号 議案第2号

国の関係機関に意見書を提出

普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める意見書

普天間飛行場周辺の学校上空飛行を避ける場周経路の遵守、土壌汚染の対応について早期実現するよう、衆・参議院議長ほか、国の関係機関に要望しました。

【主な内容】
・議会が保有する個人情報の取扱いについて必要な事項を定める。
・議長は、議会が保有している個人情報ファイル簿を作成し、公表しなければならぬ。
・議会の保有する自己を本人とする保有個人情報の開示、訂正及び利用停止を請求することができる。
・議会の職員であった者等が正当な理由がないのに、個人の秘密に属する事項が記録された個人情報ファイルを提供したとき等の罰則について定める。

【内容】
1 学校上空の飛行を禁止すること。
2 普天間第二小学校内の土壌調査の実施及びPFAS汚染特定箇所への土壌の入れ替えを行うこと。
3 普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全を保障すること。



議員▼国、県にどんな少子化の抜本的対策を求めるのか。
市長▼全国市長会を通して、「学校給食費」「保育料」「子ども医療費」の完全無償化を継続的に要望していく。

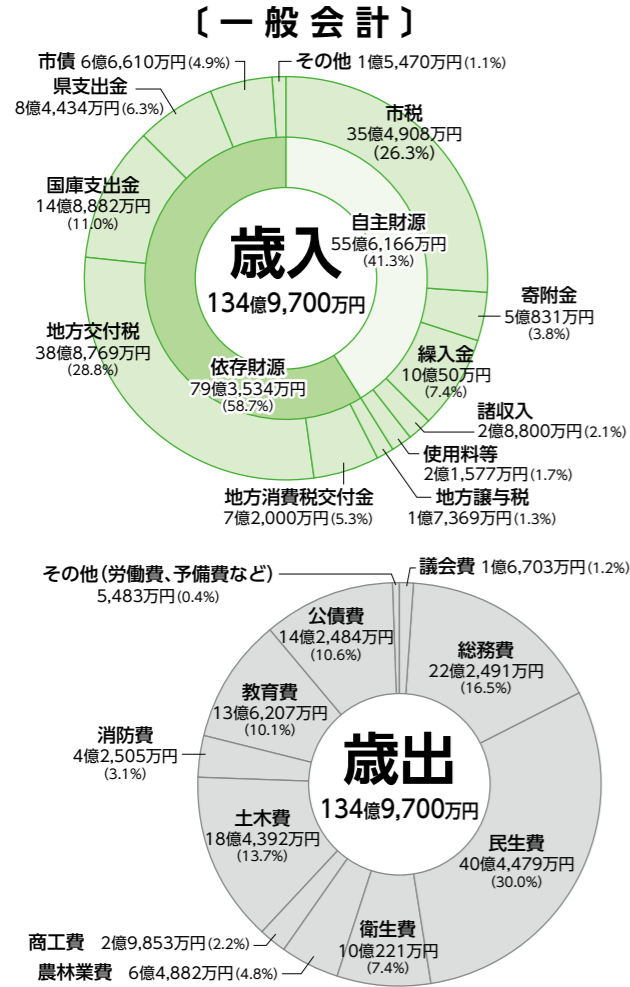
議員▼少子化の主な原因は、未婚率の高さと言われており、女性の社会進出と若者の所得の低下により結婚しない、できない若者が増えている。特に労働者派遣法改正による非正規雇用労働者の増加が拍車をかけたと言われており、低所得の若者への経済支援や同一労働同一賃金にする法律改正を国に要望する必要があると思うが見解を問う。
市長▼働き方改革や社会システムの根本を、市長会等を通して

会派代表質問とは、会派に所属する議員が、会派を代表して行う質問のことです。角田市議会では、角田市議会基本条例に基づき、「施政方針（市長の市政運営に対する基本的な考え方や主要な施策を定例会（2月）で表明するもの）」と「市長の所信表明」に対して行われます。



▲走れ！阿武隈急行(旧国鉄丸森線)

ト付与、お絵かきトレインの事業を実施している。
議員▼持続可能な医療体制の具体的施策を問う。
市長▼中核病院の機能強化を図り、医療関係者から広く情報を収集し、市内への医師の招聘を目指す。
議員▼ピンポイントを実践するためにも、映画「Dr.コトー診療所」に出てくる「コトー先生」のような「かかりつけ医」が身近にいれば、ありがたい。かかりつけ医制度の定着について角田市医師会と話し合いをしているのか問う。
市長▼国でも積極的に推進し、検討されていることから、角田市医師会とも話し合いを進めて行きたい。
議員▼阿武隈急行線存続のため、独自の支援策を問う。
市長▼利用者拡大のため、学校行事の運賃や通学定期券購入の助成、利用者へのポイン



令和5年度予算

令和5年度 各種会計予算総括表 (単位:千円)

会計区分	令和5年度	令和4年度	比較	
	金額	金額	増減額	増減率
一般会計	13,497,000	13,830,000	▲333,000	▲2.4%
特別会計				
国民健康保険事業	3,500,077	3,472,091	27,986	0.8%
後期高齢者医療	404,117	389,781	14,336	3.7%
介護保険	3,219,004	3,246,010	▲27,006	▲0.8%
産業用地造成事業	58,270	30,000	28,270	94.2%
東根財産区	495	495	0	0.0%
計	7,181,963	7,138,377	43,586	0.6%
企業会計				
水道事業	収益的支出 1,085,038	948,145	136,893	14.4%
	資本的支出 436,347	374,757	61,590	16.4%
下水道事業	収益的支出 969,727	957,678	12,049	1.3%
	資本的支出 1,170,394	1,098,934	71,460	6.5%
計	3,661,506	3,379,514	281,992	8.3%
合計	24,340,469	24,347,891	▲7,422	0.0%

問 部活動の受け皿となる地域クラブとはどのような団体か。

答 各種スポーツ団体と連携が図れることと、指導者とのネットワークが必要であるため、現在、スポーツ振興事業と相乗効果が見込まれるKスポーツ指定管理者を検討している。

問 学校が要望すれば、部活動全種目に対応可能なのか。

答 令和5年度は3分の1程度の種目の移行を予定している。なお、3カ年で段階的に全種目の地域移行を想定している。

マイナンバーカード申請サポート事業(番号法対応事業) 総務費

問 1月中旬から始まった申請サポートの状況と、新たに始まる出張申請受付業務委託の内容について問う。

答 地元根拠した郵便局が申請窓口になったこと、マイナポイントの相乗効果により、ひと月半で792件の申請があり、本市の2月末の申請率は約66パーセント、交付率は約57パーセントである。なお、市内郵便局での申請サポートは1年間継続(市民センターは6月末まで)する。

また、出張申請受付業務委託は、窓口に来ることができない方を対象に、委託業者が市内の事業所や企業を訪問して申請のサポートを行うものである。

賛成討論……湯村 勇

厳しい財政状況の中、歳入では、ふるさと納税の活用、ネーミングライツ、未利用公有地の売却などにより、税外収入を確保し、持続可能な行政運営を進めていくとのことである。また、歳出では、第2子以降の子育て世帯の支援拡充、企業誘致の促進、学校教育の充実など、第6次長期総合計画に基づいた施策は、いずれも市民生活に沿った必要不可欠な予算であり、十分理解できることから賛成する。

反対討論……日下 七郎

地方交付税が市税増額により前年度と比較して減額している。地方財政計画の一般行政経費分を基準財政需要額に算定していないため、7月の本算定では地方交付税が増額(上乗せ)となるはず。物価高騰により、市民生活はかつてない厳しい状況にある。農家・商店等への支援、市内小中学校での給食費完全無償化実施など、適正な法令・条例でない議決による第6次長期総合計画を基本とする予算に反対する。



審議結果一覧

●賛成と反対がわかれたもの ○…賛成 ×…反対 -…退席又は欠席 議長(渡邊 誠)は採決に加わらない。

提出者	議案番号	件名	審議結果(賛成:反対)	会派一心		市民クラブ		日本共産党 角田市議員		志政クラブ		無会派					
				菊地 利衛	小湊 毅	星 隆悦	戸村 眞喜夫	星 守夫	小島 正	湯村 勇	日下 七郎	八島 定雄	堀田 孝一	武藤 広一	菅野 マホ	馬場 道晴	柄目 孝治
市長	議案第3号	令和4年度角田市一般会計補正予算(第15号)	可決(12:2)	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○	○
	議案第7号	令和4年度角田市産業用地造成事業特別会計補正予算(第2号)	可決(12:2)	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○	○
	議案第23号	令和5年度角田市一般会計予算	可決(12:2)	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○	○
	議案第24号	令和5年度角田市国民健康保険事業特別会計予算	可決(12:2)	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○	○
	議案第25号	令和5年度角田市後期高齢者医療特別会計予算	可決(12:2)	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○	○
	議案第27号	令和5年度角田市産業用地造成事業特別会計予算	可決(12:2)	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○	○
議員	議案第1号	角田市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	可決(12:2)	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○	○
	議案第2号	普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める意見書の提出について	可決(8:6)	○	○	○	○	○	×	-	○	○	×	×	×	○	○

全員が賛成したもの

提出者	議案番号	件名	
市長	議案第1号	専決処分の報告並びにその承認を求めることについて(令和4年度角田市一般会計補正予算(第14号))	
	議案第2号	東根財産区管理委員の選任について	
	議案第4号	令和4年度角田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	
	議案第5号	令和4年度角田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	
	議案第6号	令和4年度角田市介護保険特別会計補正予算(第5号)	
	議案第8号	令和4年度角田市水道事業会計補正予算(第6号)	
	議案第9号	令和4年度角田市下水道事業会計補正予算(第5号)	
	議案第10号	角田市学校施設整備基金条例の制定について	
	議案第11号	角田市附属機関の設置等に関する条例の一部改正について	
	議案第12号	職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の一部改正について	
	議案第13号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	
	議案第14号	角田市出産祝金支給条例の一部改正について	
	議案第15号	角田市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部改正について	
	議案第16号	角田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
	議案第17号	角田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
	議案第18号	角田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
	議案第19号	角田市子ども・子育て会議条例の一部改正について	
	市	議案第20号	角田市国民健康保険条例の一部改正について
		議案第21号	角田市交通安全指導員条例の一部改正について
議案第22号		角田市道路占用料条例等の一部改正について	
議案第26号		令和5年度角田市介護保険特別会計予算	
議案第28号		令和5年度角田市東根財産区特別会計予算	
議案第29号		令和5年度角田市水道事業会計予算	
議案第30号		令和5年度角田市下水道事業会計予算	
議案第31号		和解について	
議案第32号		宮城県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更について	
議案第33号		宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会共同設置規約の変更について	
長	議案第34号	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約の変更について	
	議案第35号	令和4年度角田市一般会計補正予算(第16号)	
	議案第36号	令和5年度角田市一般会計補正予算(第1号)	
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について		

一般質問とは、角田市のさまざまな課題等について、市長や教育長などに対し、事務の執行状況や将来の考えなどを質すことです。質問は一问一答で、議員1人につき30分以内(答弁時間は含めない)で行われます。

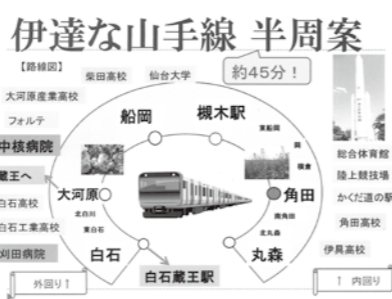
質問した議員ごとに要約してお知らせします。(その他の質問の要約は掲載されておりませんので、録画中継の配信をご視聴ください。)

質問議員 (質問順)	質問項目	頁
菅野 マホ	施政方針「公共交通システムの存続と多様な運送支援の活用」について 所信表明「教育の充実…コミュニティ・スクールの導入」について 有機農業産地づくり推進事業(オーガニックビレッジ)の取り組みについて 地区振興協議会の地区計画の見直しと新計画づくりについて	7
戸村眞喜夫	台山公園内にある案内図の表示の拡充と公園内にある施設の場所を示す案内板の設置について	7
相澤 邦戸	国土土地改良事業「角田2期地区」について	8
武藤 広一	持続可能な消防団体制について 角田消防署の建て替えについて その他の質問	8
堀田 孝一	住宅用火災警報器の設置促進について 角田市ゼロカーボンシティの計画について 農業振興地域整備計画の見直しについて その他の質問	9
湯村 勇	政府・角田市に対しての畜産経営を継続できる支援策に関するところについて その他の質問 角田市長期総合計画条例が、地方自治法第96条第2項の規定に基づきの「議決すべき事件を定める条例の制定」とは、承認されないことについて 市道路線番号2062 大和橋島内線の管理について 島石公園(位置 島田字四拾刈16-3及び17)の取り付け道路について	9
目下 七郎		10

議員▼「阿武隈急行線」の丸森駅からJR白石駅間の13駅を(槻木駅で)乗り換えなしで移動できる路線を提案したい。通学、通院、通勤、観光、買物等が便利になり、仙南地区2市7町へ新たな経済圏・文化圏が創出される。沿線自治体の首長は「この案で、仙南はひとつの考えが共有できる」という。国土交通省の「地域公共交通再構築事業」の交付金を利用して、調査・実証実験を行うてはどうか。

市長▼実現すれば仙南の議員▼「市内循環型バスの実証実験」の詳細を問う。
市長▼令和5年度はスクールバスを活用して、年間10日程度、1日4便を予定。ルートは、阿武隈急行線角田駅から市内の主要施設を経由して道の駅へ。試行運転中は無料、本格運行後は有料化を考えている。
議員▼「テマンドタクシー」休日利用の可能性は。
市長▼要望が多いことは把握している。見直す時期なので、市内の公共交通の在り方を考える中で併せて検討したい。

議員▼「みやぎ県南中学校病院通院等タクシー利用



施政方針「公共交通システムの存続と多様な運送支援の活用」について

菅野 マホ

議員▼「みやぎ県南中学校病院通院等タクシー利用

議員▼「みやぎ県南中学校病院通院等タクシー利用

議員▼「みやぎ県南中学校病院通院等タクシー利用

まちづくりの大きい貢献ができるだろうと思う。経営が厳しい状況で容易ではないが、新たな活路案は重要、会議の俎上にのせられないか検討したい。「仙南はひとつである」との考えは、大変心強く有難い。

議員▼「市内循環型バスの実証実験」の詳細を問う。
市長▼令和5年度はスクールバスを活用して、年間10日程度、1日4便を予定。ルートは、阿武隈急行線角田駅から市内の主要施設を経由して道の駅へ。試行運転中は無料、本格運行後は有料化を考えている。
議員▼「テマンドタクシー」休日利用の可能性は。
市長▼要望が多いことは把握している。見直す時期なので、市内の公共交通の在り方を考える中で併せて検討したい。

議員▼「みやぎ県南中学校病院通院等タクシー利用

議員▼「みやぎ県南中学校病院通院等タクシー利用

議員▼「みやぎ県南中学校病院通院等タクシー利用



有機農業産地づくり推進事業(オーガニックビレッジ)の取り組みについて

戸村 眞喜夫

議員▼「みやぎ県南中学校病院通院等タクシー利用

議員▼「みやぎ県南中学校病院通院等タクシー利用

議員▼「みやぎ県南中学校病院通院等タクシー利用

ライブ・録画配信を行っています

<http://www.kakuda-city.stream.jfit.co.jp>
インターネットを利用したパソコン・スマートフォン・タブレット端末でライブ中継がご覧になれます。
また、インターネットによる録画中継の配信も行っております。

角田市議会 映像配信 検索

第420回(令和5年2月)定例会
インターネットライブ中継視聴者数 延べ422人

インターネット録画中継視聴者数
1月~3月 延べ809人

質問議員 (質問順)	質問項目	頁
小湊 毅	角田市の「健康寿命」と「終活」への取り組みについて	10
星 守夫	通園バス・スクールバスの安全対策について 保育園の虐待行為について	11
菊地 利衛	産科・婦人科病院の設立について その他の質問 地域おこし協力隊による角田市の活性化について	11
馬場 道晴	安心して安全な子育て環境の整備について	12
八島 定雄	市営住宅の「空き家」の現状と活用及び今後の建設計画について 部活動の地域移行について	12
柄目 孝治	民生委員・児童委員及び主任児童委員の改選に係る問題(課題)について	13



台山公園内にある案内図の表示の拡充と公園内にある施設の場所を示す案内板の設置について

相澤 邦 戸

議員▼台山公園には子ども広場、角田スペースタワー・コスモハウス、石川家台山廟、平和之塔など様々な場所や施設があり、乳児から高齢者まで多くの市民が活用している。

台山公園の管理棟北側にある案内図には、石川家廟東側にある3つの詩碑の図は描かれているが名称は記されていない。一方、「角田の歴史散歩」のパンフレットには、台山公園にある吉野臥城の詩碑が写真と共に掲載されている。吉野臥城は角田で生まれ角田小学校の教員をし、また、詩人として数々の優れた作品を残している。

非戦を希求し、正義と自由と愛を求めた詩は、感銘した多くの人々の要望で昭和29年に建立されたものであり、現代にも通じる内容である。ぜひ

公園内の案内図にも名称を明記してほしいが所見を問う。市長▼指摘のとおり、建立されている吉野臥城詩碑などは案内図の中に名称の明記がない。台山公園を訪れる多くの方々に周知するべきと考えており、検討していく。議員▼角田中学校の裏側にある台山公園の入り口には公園とHIIロケットの案内板はあるが石川家廟や詩碑の案内板はない案内板を設置してほしいが考えを問う。市長▼指摘のとおりである。石川家廟や吉野臥城などの詩碑を含めて、台山公園全体の案内や表示は必要であるため、検討していく。議員▼「大河原教育事務所管内の偉人」夢をもち志を成し遂げた郷土の人々」という志教育参考資料集がある。角田の



詩碑には次の詩が刻まれている。「世界を何の色にも染めず 正義と自由の圈をめぐりて 愛の泉のつくることなく 平和の光にいつまでも」

偉人として1番目に吉野臥城が載っている。角田市内の小中学校では、どのように使用されているのかを問う。教育長▼中学校の歴史の授業、小学校の社会科における郷土に関する学習など、各学校の判断により随時使用している。議員▼資料で学び、吉野臥城の詩碑は台山公園にあるという広がりのある導きを願う。



国営土地改良事業「角田2期地区」について

武藤 広 一

議員▼日刊建設新聞の「阿武隈土地改良 統合排水機場を設計 角田2期地区に建設へ」との見出しの記事には、統合排水機場は毎秒30〜40立方メートルの排水能力を計画と掲載されていた。新設する排水機場の排水能力や構造・規模等を問う。市長▼現在、農林水産省阿武隈土地改良調査管理事務所で、排水機能強化に向け解析を行っている。詳細な現地測量及び基本設計が必要なため、現時点で排水能力等の決定には至っていない。議員▼記事には、「小田排水機場の構想プロポ」と言う見出しで掲載。「新設を計画している小田排水機場と、改修を計画している堀切排水機場、横倉堀排水路、小田排水路、中谷地排水路(サイホン)について、構想設計をまとめる」とあるが、具体

的な内容を問う。市長▼小田排水機場及び堀切排水機場の排水能力は両方とも、毎秒8・7立方メートルで計画し、横倉堀排水路が毎秒2立方メートル、小田排水路が毎秒7・3立方メートル、中谷地排水路(サイホン)が毎秒3立方メートルで計画している。議員▼江尻排水機場の増強、小田排水機場の新設には、令和元年東日本台風を受けて、第400回定例会(令和元年12月)で、当時の大友市長に要望していた。3年と少しで具現化し、これまでの努力に感謝する。小田排水機場は、阿武隈川に直接排水するのか、又は小田川に排水するのかを問う。市長▼今後、詳細設計を行い小田川の管理者の県と、阿武隈川の管理者の国とも協議していくことになる。

議員▼排水能力等の決定には至っていない。議員▼記事には、「小田排水機場の構想プロポ」と言う見出しで掲載。「新設を計画している小田排水機場と、改修を計画している堀切排水機場、横倉堀排水路、小田排水路、中谷地排水路(サイホン)について、構想設計をまとめる」とあるが、具体



持続可能な消防団体制について

堀田 孝 一

議員▼市は、平成31年3月の条例改正で、定数を600人に、また、団員の定年延長を行ってきたが、令和5年1月1日現在の団員数は539人と約4年で65人減少している。今後、どのように消防団員を確保していくのかを問う。市長▼団員による勧誘のほか、令和4年度は仙台大学に学生加入のお願いをした。また、女性消防団員の募集や独自のポスターを作成するなど、必要性の周知やイメージの向上に努め、団員の確保に努めている。議員▼消防団の班体制は令和3年度に74班から64班に変更され、現在60班(令和5年1月1日時点)だが、今後どのような組織体制を考えているのか。市長▼消防団幹部を対象に行ったアンケート調査結果を基に統廃合を行い、現体制となっていること

から、団員が少なく活動に支障が生じた場合は、幹部会議で検討し、班の統合等を行いたい。議員▼公務員の消防団活動について、地域防災の推進と、防災行政の観点から取り組むべきと考えられている。市長▼市の職員は、災害対策本部の設置に至る災害発生の際には、全員が災害対応の業務を優先する体制となっている。ただし、職員からの入団志願があった場合には、業務に支障がない範囲で承認する。議員▼角田市消防団協力事業所表示制度は今年で12年を迎える。第410回定例会(令和3年3月)の一般質問で、「長年の協力に対して礼を尽くすべき」と提案したところ、「御功績に対し顕彰、御礼等検討したい」との市長答弁であった。検討内容について問う。

議員▼市は、平成31年3月の条例改正で、定数を600人に、また、団員の定年延長を行ってきたが、令和5年1月1日現在の団員数は539人と約4年で65人減少している。今後、どのように消防団員を確保していくのかを問う。市長▼団員による勧誘のほか、令和4年度は仙台大学に学生加入のお願いをした。また、女性消防団員の募集や独自のポスターを作成するなど、必要性の周知やイメージの向上に努め、団員の確保に努めている。議員▼消防団の班体制は令和3年度に74班から64班に変更され、現在60班(令和5年1月1日時点)だが、今後どのような組織体制を考えているのか。市長▼消防団幹部を対象に行ったアンケート調査結果を基に統廃合を行い、現体制となっていること



角田市ゼロカーボンシティの計画について

湯村 勇

議員▼市長は、昨年6月に2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言した。そこで、地域型再生可能エネルギーの促進について考えを問う。市長▼現在、角田市第3次環境基本計画を策定中で、令和5年度に地球温暖化対策実行計画と再生可能エネルギー導入計画を策定する。また、本市の二酸化炭素排出量の現状や地域課題の把握、再生可能エネルギー導入のポテンシャル調査、将来のエネルギー消費量の推計などを行う予定である。議員▼サステイナブルな社会を目指し、地球温暖化対策、災害対応、また、電気代高騰に係る事業支援として、地域マイクログリッド(※1)の構築を実現する考えはあるか。市長▼災害時にも対応可

能で、電力は再生可能エネルギーで賄うため二酸化炭素排出量の削減にもなり、有効な手段である。しかし、発電のためには促進区域の確保や事業の収益化、市と関係者との協力などの課題解決が必要である。本市で適用可能かどうか、今後、調査研究を進めていく。(※1)分散型エネルギーシステムの一つ。平常時に再生可能エネルギーを効率よく利用し、非常時には送配電ネットワークから独立し、地域内でエネルギーの自給自足を行う送配電の仕組み。議員▼電気料高騰により、地域企業からの相談はあるか。市長▼主に誘致企業との情報交換の中で、補助電源として、再生可能エネルギー設備を、施設の外で設置できないか検討している企業があると確

認している。議員▼第417回定例会で「農用地区域の耕作放棄地対策や企業用地等として活用すること」について一般質問をしたが、その後の進捗状況を問う。市長▼農用地区域は、安定的な農業生産が行われるためのもので、関係機関などと調整し、慎重に見直しを進めている。進捗状況は、確認作業などにより、令和5年度に策定することとなる。今後、調査などを行うとともに、4月から5月に除外地確認作業、その後図面を作成し、7月には角田市農業振興地域整備促進協議会を開催するなど、計画の完成に向けてスピード感を持って行っていく。

農業振興地域整備計画の見直しについて

認している。議員▼第417回定例会で「農用地区域の耕作放棄地対策や企業用地等として活用すること」について一般質問をしたが、その後の進捗状況を問う。市長▼農用地区域は、安定的な農業生産が行われるためのもので、関係機関などと調整し、慎重に見直しを進めている。進捗状況は、確認作業などにより、令和5年度に策定することとなる。今後、調査などを行うとともに、4月から5月に除外地確認作業、その後図面を作成し、7月には角田市農業振興地域整備促進協議会を開催するなど、計画の完成に向けてスピード感を持って行っていく。



政府・角田市に対しての畜産経営を継続できる支援策に関する質問について

日下七郎

議員▼政府に対し、畜産農家の生産費高騰に係る支援を求めるため、市内の畜産農家45戸（酪農7戸、肉用牛（肥育・繁殖）33戸、養豚2戸、養鶏（鶏卵）3戸）を訪問した。農林水産大臣あての「畜産経営を継続するための緊急要望書」への署名をお願いの際に現状を伺うと、「飼料、乾草、生産資材、光熱費等の高騰で、生産費の上昇が続くのか不安」「養鶏農家では、飼料代が月400万円増額」「酪農家は飼料代の支払いが生乳代の6割から7割」とのこと、角田市から酪農・畜産農家が消えかねない非常事態となっている。

議員▼コロナ禍がようやく過ぎ去ろうとしている。「健康寿命」の延伸を考えた場合、家に引き籠もりがちであった方が外に出て、様々な方と触れ合うことが日常化することが大切である。ご近所などで集まり、楽しく時間を過ごす。その際に脳トレ・体操・手芸等を行う状況が求められるのではないかと。市長▼生活拠点に近い場所での日常を取り戻す工夫として、健康事業を意図する活動に取り組みすることは非常に重要である。今後、こうした活動の再開、一層の促進を支援していく。



角田市の「健康寿命」と「終活」への取り組みについて

小湊毅

議員▼指導してくれる方を育て、地域等からの要請に応じる体制をつくるべきではないか。市長▼現在、スポーツ推進員やKスポの指定管理者が健康スポーツの分野も担っており、地域の人たちから要望があれば講師派遣を行っている。特に2月から、新たに開始した事業で17団体より予約を受け付けている状況である。今後、要望も増えていくものと予想している。健康な地域づくりを目指し、レクリエーション活動の普及に努めていきたいと考えている。普及をしていく中で使い勝手のいい事業にしていきたい。



通園バス・スクールバスの安全対策について

星守夫

議員▼2021年7月、福岡県中間市の保育園で、5歳の男の子が炎天下の送迎バスに9時間近く取り残されて、熱中症で死亡、2022年9月、静岡県牧之原市の認定こども園で、3歳の女の子が駐車場の通園バスに5時間も放置され、熱中症で死亡という、痛ましい事故が発生した。バスの安全対策のうち、乗降時の確認方法について問う。教育長▼本市では、通園バスの運用はないが、小中学校のスクールバスでは、登校時は学校に到着後に、下校時は最終乗降所で、児童生徒が下車した後に忘れ物も含めてドライバーが全てのシートを確認している。また、連絡なく児童生徒が登校してこない場合は、必ず学校から保護者に確認の連絡をしている。

議員▼本市の現状と対策を問う。市長▼令和5年1月16日付で、市内保育施設における不適切な保育への対応等について調査を実施した。本市では、施設内での不適切な保育が確認された事案や、虐待が疑わしい事案として保護者などから市へ報告されたケースはない。議員▼虐待行為は実態を把握することが非常に難しいことから、虐待行為防止対策は行っているのか。市長▼市内保育施設の調査では、各施設で虐待防止手引きの整備、セルフチェックリストでの確認、未然防止や対応のための研修の実施、ヒヤリハット事例の分析や共有を行っている。



産科・婦人科病院の設立について

菊地利衛

議員▼角田市第6次長期総合計画に「市内への産科医、小児科医、耳鼻科医の招聘を目指す」とし、重要業績評価指標では「令和8年度市内産科医・小児科医を1人」と具体的に示している。「地域から子どもを産み育てる場所をなくしてはならない」とは、市民の願いでもある。令和8年度の具現化に向けての進捗状況を問う。市長▼現在、市内の医師や東北医科大学病院の医師との意見交換等、医療関係者との顔つなぎや情報収集の段階である。議員▼招聘にあたり、何が壁になっているか。市長▼周産期医療については、令和6年には1施設あたり医師5人が必要になること、医師の不足子どもの数が減少していることにより、採算が難しいことがあげられる。議員▼令和8年度の実現に向け、どのようなスケジュールになっているのか。市長▼具体的な道筋は未定である。議員▼何が何でも実現しなければならぬと考える。どのような形態で招聘するのか。また、中核病院との関係をどのように考えているか。市長▼具体的な経営形態等について検討するには至っていない。なお、中核病院には機能強化として、周産期医療の再開を要請していく。議員▼産科セミオープンシステム（例：通常の診療は市内産科病院で行い、分娩やその他特殊な場合は中核病院で行う）等、機能分担しあう方法であれば、医師の数も少なく済む。経営負担も少ないため、市内の総合病院に産科・小児科を設置してもらえないのではないかと。市長▼可能性はあると考える。議員▼市内へ産科医・小児科医を招聘することになれば、財政状況は避けられない。財政状況は厳しいが、優先順位を上げ、躊躇なく取り組む覚悟がある。市長▼そのような覚悟がある。優先順位は最上位である。議員▼医師を招聘するに当たって、土地や建物取得の際の優遇策や呼び水になる作戦はあるのか。市長▼今後、検討していく。議員▼地政学的に角田市と同じような環境にある丸森町と共同で運動した方が良いと思うが、計画はあるのか。また、角田市に招聘すると言う意味で、本市主導で丸森町に声掛けして進めてほしい。市長▼スケールメリットを考えれば、丸森町に限らず近隣市町との連携は当然の選択肢である。丸森町に声掛けしていくことについては、全く異論はない。



安心で安全な子育て環境の整備について

馬場道晴

議員▼本市のゼロ歳児の見守り訪問事業の展開について問う。

市長▼産婦・新生児訪問指導事業のほか、こんにちは赤ちゃん訪問事業で生後4カ月までの乳児がいる全ての家庭を訪問し、不安・悩みなどの傾聴や子育て支援に関する情報提供を行っている。また、支援が必要な家庭には、適切なサービスにつないでいる。今後、乳児家庭の孤立化等を防ぐため、先進地で実施している事業を参考に、支援体制を整備したい。

議員▼見守り訪問事業等を実施した際に、産後のお母さんに寄り添ったサービスを提供するための支援員(産後ドゥーラー)の育成や確保も必要だ。家事支援員等の資格取得のため、支援制度を創設することも必要ではないか。

市長▼家事支援員の育成や確保は必要である。現時点で、家事支援員の資格取得に係る支援制度の創設予定はないが、令和5年度から、育児支援が必要な世帯に、家事・育児訪問支援員を派遣し、家事や育児などの援助を行う子育て世帯家事・育児訪問支援事業を実施する。指定事業所に委託し、ヘルパー等の資格を有している方が支援に当たることとなる。

議員▼様々な形態の子ども食堂の整備や運営をサポートする体制を整備し、積極的に子ども食堂の整備を進めるべき。

市長▼支援団体を含めた関係機関との連携を密にし、整備に向けて積極的に検討したい。

議員▼奨学金の代理返還制度を導入する地域の企業に対する支援制度を創設し、学生・企業・地域社会の活性化を図ることが大変有意義と考えるが、

市長▼市内企業が代理返還制度を導入するか否かを把握する必要があるほか、支援内容や予算規模の調査が必要となる。返還制度の周知を図り、導入状況を把握し、制度化について検討したい。

議員▼ヤングケアラーやダブルケアラーの支援をする相談窓口や家事支援体制の整備が必要では。市長▼ヤングケアラーやダブルケアラーの家庭の早期支援につながるよう、相談窓口や訪問支援事業の周知に取り組んでいく。



民生委員・児童委員及び主任児童委員の改選に係る問題(課題)について

柄目孝治

議員▼改選過程の選考・推薦作業において、行政区長や現民生委員の方々が苦悩していると聞いています。委員改選に係る一連の選考に係る手続の状況について問う。

市長▼候補者の推薦は、行政区長に依頼している。委員の活動は、課題の多さや社会情勢の変化により業務が多様化していることから、推薦は非常に苦慮したという意見を直接聞いている。

また、委員の成り手不足の一因として、地域内での委員の認知度や理解度が不足していることも考えられることから、委員や行政区長の方々の意見を十分に聞き、負担軽減につながる改善策を図るなど、委員が非常に大切な役割を担っていることを理解してもらった上で、選考・推薦作業を進める必要があると考える。

議員▼行政区長と現民生委員の方々に、推薦作業全ての負担がのしかかっているのではと疑問を持っているのか。

市長▼議員の指摘は免れない、非常にじくじたる思いである。現状について改善が必要であると認識している。

議員▼委員の成り手について、福祉や地域づくりに対する理解者が適任者と考えるが、このような人材の推薦を粘り強く行っている行政区長や委員の方々の負担が大きすぎると考えるがどうか。

市長▼孤軍奮闘されているのが行政区長や委員の方々と認識している。また、地区からの選出は必要であることから、行政が伴走しながら支えていく体制が必要と考える。



市営住宅の「空き家」の現状と利活用及び今後の建設計画について

八島定雄

議員▼政策空き家(未募集空き家)で、今谷、山崎、老ヶ崎、中島上、東町住宅が多いようだが、今後どのようにしていく考えなのか。

市長▼現時点で入居されている方もいるので、生活の状況や移転先などを考慮しながら移転の相談を進め、空き家となった場合は、計画的に用途廃止し、解体撤去を行う。

議員▼令和5年度に「関ノ内住宅改修」計画があるようだが、今後の改修計画の全体像を問う。

市長▼関ノ内住宅を令和5年度から令和7年度にかけて、金谷住宅を令和8年度から令和9年度にかけて改修を行う。水上住宅は、令和9年度に給水ポンプを改修し、令和10年度から令和13年度にかけて住宅の改修を行う予定である。

居住性の向上としてコンセントの増設と電気容量の増加に対する電気設備の改修も併せて行う。また、安全性の確保で、2階窓枠の鉄製手すりの改修も行う計画である。

議員▼関ノ内住宅入居者の駐車場が不足している。今後の対策を問う。

市長▼関ノ内団地内の市有地である空き地を活用して駐車場にしていきたい。

議員▼今後の建設・建て替え計画について問う。

議員▼「人格の完成」に値する豊かな学校教育を守り、部活動を含む業務全般を、極力、教職員の勤務時間内に収める取り組みが大切と思うがどうか。

教育長▼部活動の種目によって、その取り組み方は様々だが、子ども、教職員、保護者の声を十分に聞きながら進めていきたい。

? 議会のギモン

「質疑」と「質問」、同じように見えるけど違いはあるの? A どちらも疑問点を聞くことでは同じですが、疑問点を聞く対象が異なります。

「質疑」は、議案などの議題について、議員が賛成・反対の態度決定ができるように提案者である市長等に疑問点を聞くことで、自己の意見を述べることはできません。

「質問」は、市政全般に関することについて疑問点を聞くことで、本会議の「一般質問」のほか、角田市議会では、市長の施政方針(2月定例会)や所信表明に対し会派を代表して行う「会派代表質問」がこれに当たります。また、質疑と異なり、自己の意見を述べることもできません。

質問	対象	意見
市政全般(会派代表質問は、市長の施政方針・所信表明)	議会	できない(討論で行う)ことができる

議会日誌

- 1月 24日 全員協議会
- 25日 会派代表者会議
- 28日 本会議(第2日)・予算審査特別委員会(第1日)
- 3月 1日 会派代表者会議・かくだ市議会だより221号発行
- 6日 議員研修会
- 10日 第420回定例会招集告示・会派代表者会議
- 17日 議員協議会・議会運営委員会
- 21日 本会議(第1日)・会派代表者会議
- 28日 議会運営委員会・議会だより編集委員会
- 4月 1日 会派代表者会議・かくだ市議会だより221号発行
- 3日 議会運営委員会
- 6日 総務産業常任委員会
- 7日 本会議(第3日)・予算審査特別委員会(第3日)
- 9日 予算審査特別委員会(第4日)・会派代表者会議
- 10日 予算審査特別委員会(第5日)・総務産業常任委員会
- 13日 本会議(第4日)・議員協議会
- 14日 本会議(第5日)・議会運営委員会
- 15日 本会議(第6日)・議会運営委員会・議会だより編集委員会
- 24日 議会だよりモニターと角田市議会議員との懇談会
- 14日 議会だより編集委員会

議会だよりモニターとの懇談会を開催しました

～ 読みやすく・わかりやすい紙面づくりを目指して ～

3月24日、議会だよりモニター7名と議会だより編集会議を担当する議員6名が集まり、懇談会が行われました。

はじめに議員より、モニターアンケートで「議会の用語が難しい」という意見が多くあったことから、用語や議会のしくみの解説について掲載をはじめたことなど、改善点について報告しました。

懇談会では、モニターの方々より次のようなご意見をいただきました。

- 議会だよりは堅苦しいイメージがあるので、ページを開きたくないように工夫してほしい。
 - いつもワンパターンで全然変わっていない。
 - モニターになってから真剣に読むようになったが、多くの方が資源ごみになっていると思う。
 - 読みやすいことも大切だが、読んでみようと思う気持ちにさせることが大事ではないか。
 - 議会を知る・知ってもらう工夫をする必要があると思う。
- このほかにも、たくさんのご意見をいただきました。

いただきましたご意見を参考に、
今後の議会だよりの紙面構成の改善に
活かしてまいります。



議会だより第221号（2月号） アンケート結果

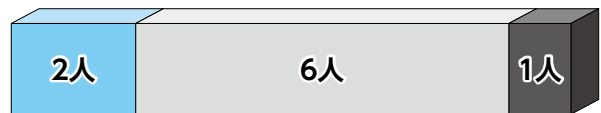
① 2月号全体の編集・レイアウトについて、
どのように感じましたか。

とても良かった 良かった あまり良くない
 良くない 無回答



② 2月号では研修会や他議会との意見交換会の内容を
紹介しましたが、記事は読みやすかったですか。

とても読みやすかった 読みやすかった
 あまり読みやすくなかった 読みにくかった



詳細は市議会のホームページをご覧ください。

編集後記

WBCの優勝に、日本中が歓喜しました。それを祝うかのよう
に観測史上最も早く桜が満開。マスクを外して、久しぶりのお花見を
楽しんだ方も多かったのではないのでしょうか。コロナウイルス感染
症の長いトンネルから抜けて、一気に春がやってきたようです。

トンネルといえば、阿武隈急行線。長い冬の間利用者減少し
経営を圧迫、「阿武隈急行線在り方検討会」が始まりました。『乗っ
て守ろう。我らの“あぶきゅう”』。時には車を置いて、春の阿武隈急
行に揺られてみませんか。

議会だより編集会議

委員 菅野 マホ

6月定例会の予定

会期

6月9日(金)～6月27日(火)

本会議の日程（午前10時開会）	
6月9日	提案理由の説明
20日	質疑・自由討議
23日	討論・表決・一般質問
26日	一般質問
27日	最終日

※日程は変更になる場合があります。

トルコ・シリア地震 救援金を送りました

令和5年2月6日にトルコ南
東部とシリア北部で発生した大
規模な地震では、甚大な被害が
発生し、多くの方が犠牲となり
ました。

角田市議会では、被災地での
救援・復興に役立ててもらいた
め、全会一致で救援金（10万円）
を送金することに決定しました。
全議員からの救援金は、3月
17日に日本赤十字社を通じて
送金しました。

心からお悔やみとお見舞いを
申し上げるとともに、被災地の
一日も早い復興を願っておりま
す。